

調査レポート Part.3

Report

～年末年始の買い物・営業に関するアンケート～ 正月三が日営業について「平常通りがよい」との回答は僅少!

《調査目的》

各業界においては、人手不足に伴う人材確保や業務の効率化が課題となっている中、小売業では、「正月三が日営業」時の従業員確保や業務効率改善に向けて、営業時間短縮等が検討されている。そこで、特に大型小売店における年末年始期の買い物や営業時間等についての消費者意識を調査し、課題解決の参考とするためアンケートを実施した。調査結果の詳細は当所HPをご参照。

《調査概要》

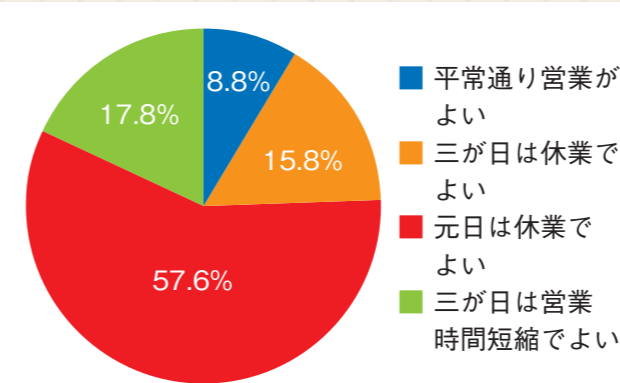
- 期間 平成30年10月1日(月)～10月18日(木)
- 対象 当所会員事業所の従業員等
- 方法 訪問により調査票を配布、訪問または郵送にて回収
- 回収数 500名(男229名、女271名、回答率90・1%)

《大型小売店の正月三が日営業について》

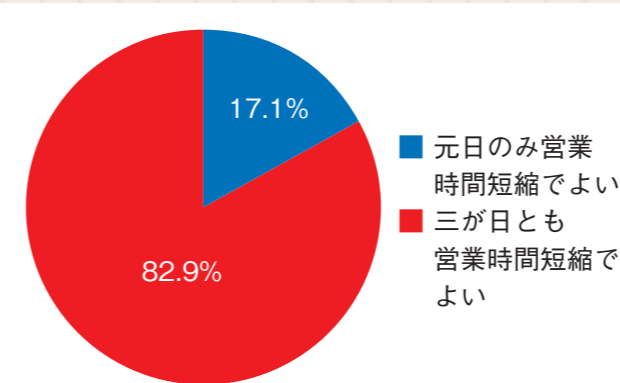
「平常通り営業」を求める声は少なく、「元日は休業」でよいとの回答が6割近く

「平常通り営業」を望む回答は8・8%に止まり、「元日は休業」でよいとの回答は57・6%を占めた。また、「正月三が日は休業」でよいとの回答は15・8%で、「元日は休業」でよいと合わせる7割以上の人が「元日あるいは三が日は休業」でよいと考えている。その他、「三が日営業は

【グラフ1】正月三が日の営業はどう思うか



【グラフ2】三が日の営業時間はどのように短縮すればよいか

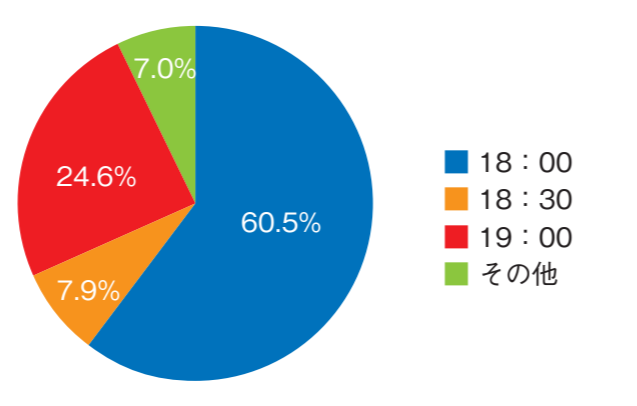


「三が日は営業時間短縮」でよいとの回答者の8割以上が「三が日も時間短縮」でよいと答え、

三が日営業の時間短縮は、8割超が「三が日も短縮」でよい

時間短縮」でよいとの回答は2割近くを占めた。年代別では、10代は他の年代と比べ、「平常通り営業」や「三が日は営業時間短縮」でよいとの回答の割合がやや高い。また、年代が上がるにつれ「元日は休業」でよいとする考え方が多くなる傾向がみられる。

【グラフ3】営業時間短縮の場合の閉店時刻



短縮の場合の閉店時刻は「18時」とする回答が最も多かった。

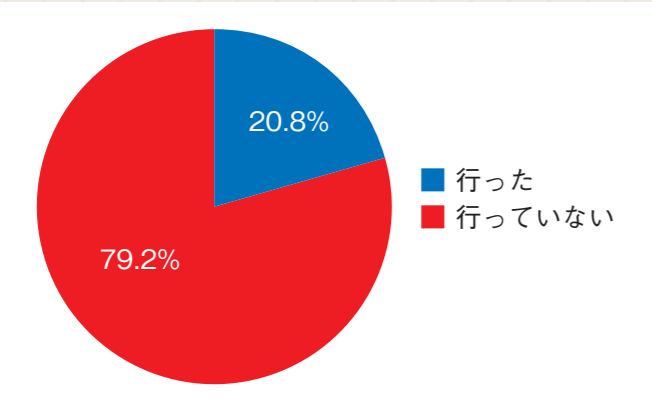
《元日の大型小売店での買い物について》

約8割が元日には大型小売店に「買い物に行かず」

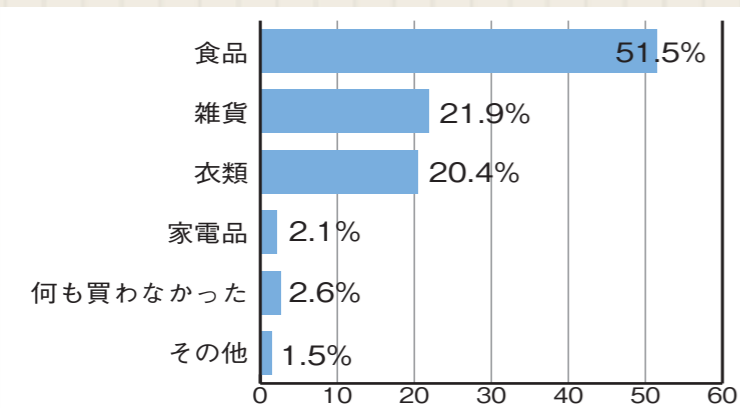
今年1月1日に大型小売店に買い物に「行っていない」が79・2%と「行った」人を大きく上回った。「行っていない」を男女別で見ると、「男性」のうち「行っていない」の割合は82・3%、同じく「女性」は76・6%で、男女間で「行っていない」という傾向に大きな差はみられない。年代別で見ると、「行っていない」が「40代」で82・1%、「60代」で87・0%と8割を超え、他の年代よりも割合が高い傾向がみられる。

今回の調査対象は、事業所に勤める従業員であり、その業種からほとんどが元日は休暇中とみられ、買い物には出掛けず、休む人が多数を占めたと考えられる。

【グラフ4】今年の元日(1/1)に大型小売店に買い物に行ったか



【グラフ5】元日(1/1)の買い物で何を買ったか(※複数回答)



元日に買い物に行った人が購入した物で最も多かったのは「食品」で51・5%。次に、「雑貨」21・9%、「衣類」20・4%と続く。年代別で見ても、購入物は「食品」が最もとなっている。「衣類」で見ると、各年代では「20代以下」が多く、年代が上がるにつれ回答数が減少する。

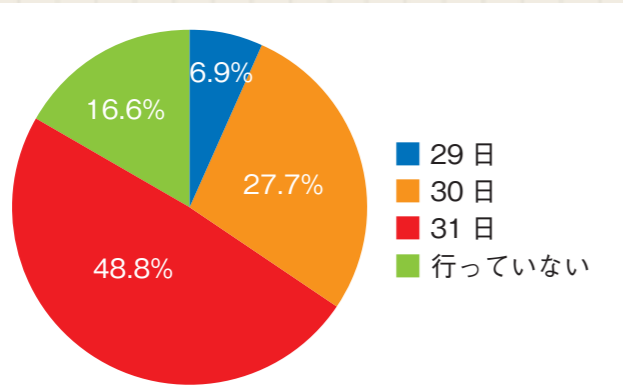
元日の購入物は「食品」が最多

《昨年末の大型小売店での買い物について》

約半数が「31日」に買い物

昨年末、大型小売店で買い物をした最後の日は、「31日」が48・8%で最も多く、次いで「30日」の27・7%となった。また、29日以降には大型小売店で買い物をしなかったとの回答は16・6%と2割近くとなっている。

【グラフ6】昨年末最後に大型小売店に買い物に行ったのはいつか



お問い合わせ先
福井商工会議所 産業・地域振興課
TEL 0776(33)8252